

発達障害者の感覚の問題の調査研究

日常生活の中の感覚の問題を一つ一つ具体的に調査し、どのような人がどんな感覚の問題を抱えるのか明らかにし、支援に役立てます。

感覚の問題は人それぞれ

発達障害当事者の日常生活の中には、視覚、聴覚、触覚など様々な感覚の問題が存在することが知られています。

感じている感覚の問題は人それぞれで個人差があります。では、具体的にどのような人がどの感覚の問題を持つのでしょうか？

感覚過敏
感覚が強く感じられる

特定の音が辛い



服がチクチクして着られない



感覚鈍麻
感覚が分かりづらい

痛みに気づきづらい



アンケート調査

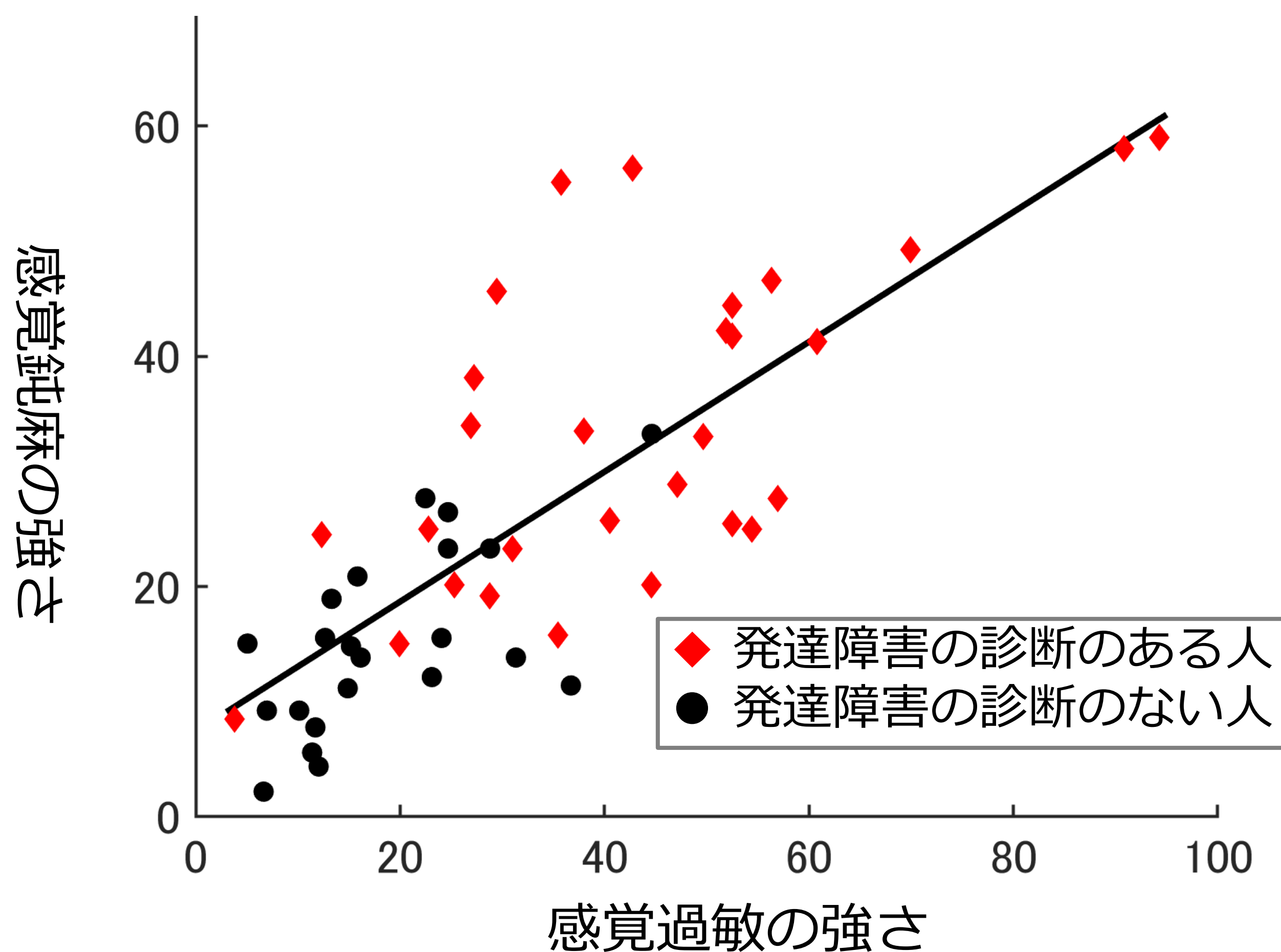
日常生活の中で体験する過敏や鈍麻など様々な感覚の問題について、自分がどれだけ当てはまるのかを5段階で回答してもらいました。

Q.突然の音が苦痛に感じる	ほとんどあてはまらない	0	1	2	3	4	とてもあてはまる
Q.細かい物が見えると気になりやすい (空気中のほこりなど)	ほとんどあてはまらない	0	1	2	3	4	とてもあてはまる
Q.味の違いが分かりづらい	ほとんどあてはまらない	0	1	2	3	4	とてもあてはまる
⋮							

発達障害者と定型発達者で特に差が大きかった感覚の問題は？

カテゴリ	質問項目	発達障害者の方が高く点をつけた	定型発達者の方が高く点をつけた
聴覚	人の話を聞き取ることがむずかしく感じる (例：何といているのか分からない、聞き違いが多いなど)	はい	いいえ
聴覚	他の音が聞こえると、必要な話や音を聞き取ることがむずかしく感じる	はい	いいえ
聴覚	周りの音で気が散ったり混乱したりすることが多い (例：電化製品の音、生活音 など)	はい	いいえ
視覚	視点や焦点が定まらないことがある	いいえ	はい
視覚	色鮮やかな場所にいることが好き	いいえ	はい

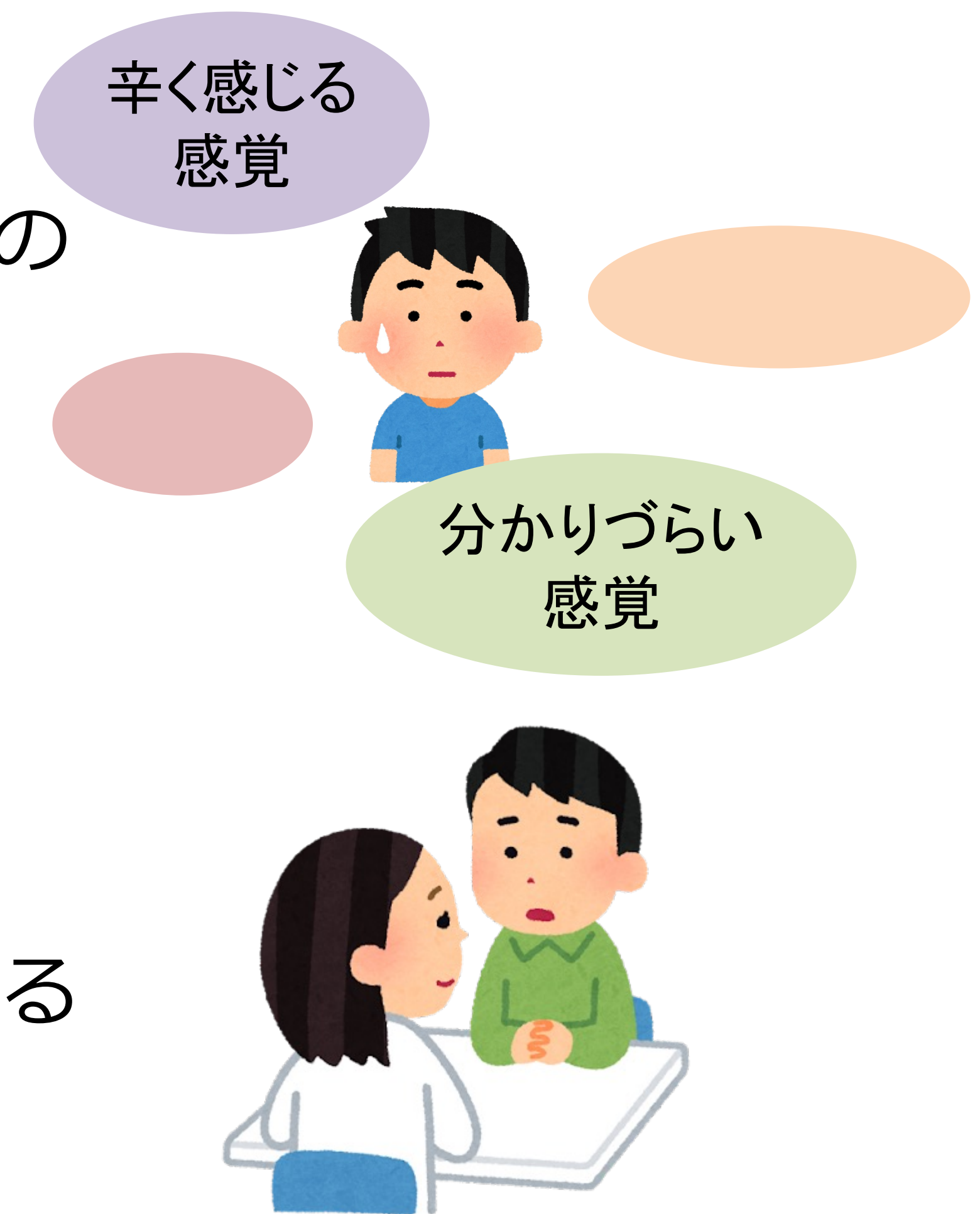
感覚過敏の度合いが強い人は、感覚鈍麻の度合いも強かった



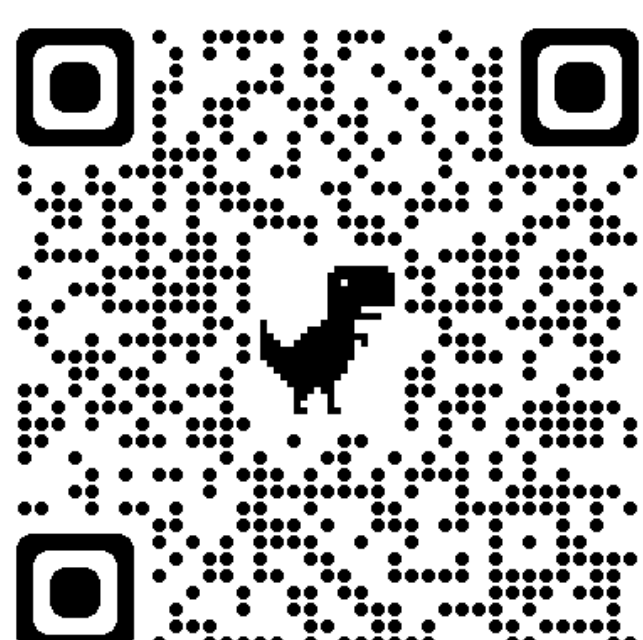
感覚の問題の実態を明らかにし、困りごとの予測・支援に役立てる

感覚の問題の現れ方のパターンを解明

感覚の困りごとの予測や支援に役立てる



研究に参加していただける方募集中！



←詳しい研究参加の説明と連絡先はこちらのQRコードから

もしくは dds_exp@rehab.go.jpまで！

和田 真 (脳機能系障害研究部・発達障害研究室長)
wada-makoto@rehab.go.jp
後藤 瑞甫 (脳機能系障害研究部・流動研究員)
gotoh-mizuho@rehab.go.jp

日常生活における感覚の問題を詳細に調査し支援に役立てます